

中間見直し（中間案）に対する関係団体からの意見

関係団体名	該当項目	意見
一般社団法人 宮城県林業公社	第2節-5-(1) 木材需要の変化と新たな木材利用の創出	<u>ロシア・ウクライナ紛争による影響・急激な円高による輸入価格の高騰などについても追記してはどうか。</u>
宮城県森林整備事業協同組合	第3節-1-(2) 森林資源と森林整備	素材生産量57万6千㎡（令和2年次）全数量のうち、宮城県内で消費されている数量や県外へ流れている数量の調査も必要ではないか。
	第3節-3-(2), (3) 県産材の需要・生産・加工関係	今後の人口減少に伴い、一般住宅着工数の減少が見込まれるのであれば、県内各市町村における県産材の搬出量に応じた形で、建築物の建築計画を立ててみてはどうか。
	第3節-3-(4) 県産材の需要・生産・加工関係	優良品やぎ材のJAS認定工場拡大について、県内の製材所への働きかけや、川上・川中への働きかけが必要ではないか。
	第3節-6-(5) 林業の担い手関係	「緑の雇用」研修生の5年後の従事率が6割にとどまっているが、何故、4割が従事しなかったかについて、要因の細かい分析や今後の具体的な対策を明確にすることが必要ではないか。
丸森町	第3節-6-(7) 林業の担い手関係	自伐型林業の事例の説明で「多様な働き方の実現や定住の促進につながっているケース」とあるが、具体的な事例をご教示いただきたい。
		「地域のバイオマス発電会社と連携し燃料供給を行うなど、地域と連携した自伐型林業を実践している事例」とあるが、具体的にどこが取組を実践し、現段階でどのような効果・影響が産み出されているのか。